



巻頭言



2023年（令和5年）の 病院医学誌の発行に当たり

済生会滋賀県病院 院長 三木 恒治

済生会滋賀県病院医学誌第32巻を発行するにあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

2022年度の論文として総説3編，原著2編，症例報告4編，看護研究3編，短報1編の計13編の論文を掲載しております。このうち消化器内科 片山政伸先生の『当院内視鏡センターにおける超音波内視鏡（Endoscopic Ultrasonography：EUS）を用いた膵癌診療の取り組み』とリハビリテーション技術科 重井比良人先生の『集中治療室におけるプロトコルを用いた早期離床・リハビリテーションの効果』の2編が今年度の症例論文賞に決定しました。

まだまだコロナ感染症が続いております。皆様方におかれましてはご対応に日々お忙しいことと存じますが，原著，症例報告，看護研究，総説ともに充実した内容であり，ご高覧いただき，ご意見，ご教示等いただければ幸甚に存じます。